

## 研究課題：小児期発症の難治性ステロイド依存性ネフローゼ症候群に対する15歳以降のリツキシマブ単回投与の有効性と安全性の検討

### 1. 研究の目的

免疫抑制剤でコントロールが困難なネフローゼ症候群（難治性ステロイド依存性ネフローゼ症候群）に対する治療薬であるリツキシマブについて、その有効性と安全性を明らかにします。特に、初回の投与が15歳以降であった症例について研究します。

### 2. 研究の方法

2008年1月から2020年12月までに難治性ネフローゼ症候群と診断された患者様が対象となります。

診療録から、臨床経過、血液検査、尿検査、副作用について、情報を調べまとめます。

### 3. 研究期間

2022年9月（倫理委員会で承認を得られた日）から2023年9月まで。

### 4. 研究に用いる資料・情報の種類

カルテの記載から、検査に関する事柄（画像、検査所見、治療方法）を調べまとめます。

### 5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

### 6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター

研究責任者：腎臓科 科長 藤永 周一郎

研究分担者：腎臓科 医員 遠藤 翔太

### 7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲

内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。  
また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2022年12月31日までに下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構  
埼玉県立小児医療センター  
医事担当（代表 048-601-2200）